



熊本県公立学校「心のアンケート」～楽しい学校生活を送るために～ の本校における結果を公表します。

ポイントは次の3点です。

1点目：いじめの解消率は100%です。

前号でお知らせしました「いじめ防止基本方針」改訂版に「いじめは、どの生徒にも、どの学校にも起こり得るものである」という基本認識があります。アンケートの「いじめは続いているか」(問6)に対して「続いていない」との回答が100%でした。また、いじめについて「誰かに話したか」(問7)、「誰に話したか」(問8)に対して「担任の先生」や「家族」との回答がありました。身近な大人に相談していじめ解決を図った生徒の姿が見えます。

2点目：相手が嫌と思うことを言ったりしたことへの自覚があります。

いじめや差別は「する側」の課題です。「なぜ、相手が嫌と思うことを言ったりしましたか」(問12)に対して「イライラしていた」「遊び半分、面白かった」との回答が多く見られました。イライラする自分の気持ちや相手のことを尊重できていない自覚があります。そうした自分の心の動きをどのように解決していくか、本校では学級活動や保健体育等を通して指導しています。

3点目：自由に使える情報通信機器の活用について課題があります。

「22時から5時まで使わないというルールを守っていますか」(問21)に対して「時々/ほとんど/ぜんぜん守れないことがある/いない」という回答が65%ありました。「いつも守れている」は23%、「時間の決まりごととは決めていない」は11%でした。本年度の目指す生徒像にある「時間を有効に使うことができる生徒」に照らし合わせてどうでしょうか。

記述回答では、「自分の学級や部活動・クラブチームで、良いと思うことやいやだと思うこと」に対して、

- 明るくて仲が良く、笑顔が多いこと
- 行事などでみんなで盛り上げられること
- 部活動では先輩後輩の仲が良く、お互い教え合っていること
- 授業中にうるさくなることがあること

がありました。

また、「安心して生活するためには、どうすればよいか」に対して、

- 相手の気持ちを考えた言動を心がける
- 相手の悪いところではなく良いところを探すようにする
- いじめ撲滅のルールを生徒会で話し合っつくる
- 学校やクラスみんなで遊ぶ時間をつくる

などの提言がありました。

こうした結果から見えてきた本校の実態に対して、生徒たち自身の自浄作用や自治能力を活かしながら特別活動を核として今後も楽しい学校生活をつくっていきます。

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で[検索](#)▶